

目指す都市像（イメージ）

第2回 都市づくり調査特別委員会
平成27年10月19日

キーワードの整理

前回の議論等を踏まえ、都市像の検討に当たり重要と考えられるキーワードを整理した。

経済・産業・観光

- 常に更新されるビジネスセンター
- 金融やライフサイエンス、ものづくり、科学技術分野の強み
- 多摩の都市基盤と大学や企業の研究所の集積
- 江戸・東京の歴史や伝統文化と最先端技術が国内外の人々を魅了
- 多様な個性あるまち

など

インフラ・公共空間

- 三環状道路や都市計画道路の整備で渋滞のない都市に
- 高度に発達した鉄道ネットワーク
- 道路や公園、公開空地などの公共空間の活用
- 既存ストックの利活用
- 空港・港湾機能の強化

など

住宅・住環境・コミュニティ

- 住み慣れた地域で住み続けられる住宅・住環境
- 活発な地域コミュニティ
- 歩いて暮らせる都市づくり
- 高齢者の社会参画を促す拠点
- 都市計画や住宅計画と、医療・福祉計画の連携
- 多様な個性ある拠点と交通ネットワーク

など

防災・エネルギー・低炭素

- 建物の耐震化、木密の解消
- 業務継続が可能なビジネス環境
- エネルギーの面的融通
- 水素や未利用エネルギーの活用

など

水・みどり・景観

- 失われた水辺景観
- 生物多様性への配慮
- 舟運ネットワーク
- ウォーターフロントの活性化
- 付加価値の高い都市農業
- 奥多摩や島しょの自然資源の活用
- デザインを重視

など

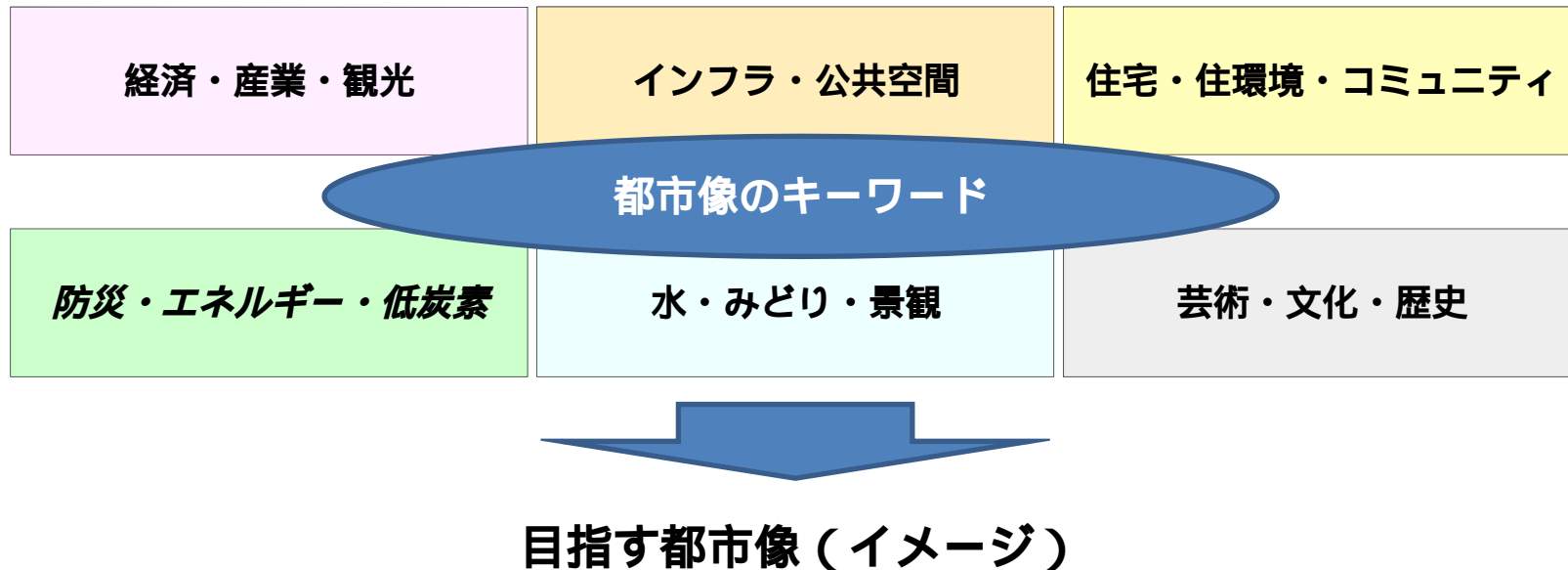
芸術・文化・歴史

- 様々な分野に共通したプラットフォームとしての文化
- 芸術・文化を表現できる場、発信できる場、体験できる場
- 芸術・文化の面での東京らしさを伸ばし、観光客を呼び込む

など

目指す都市像（イメージ）

分野ごとに整理したキーワードを踏まえ、経済活力と都民生活の2つの観点から、目指す都市像のイメージを設定した。



【主に経済活力の観点から】

東京の持つ高度な技術や市場規模を活かした経済や産業の活力が地方へ波及しているとともに、世界やアジアの中の拠点としての地位を確立し、グローバル競争のトップランナーとして他都市を牽引し、世界をインスパイアしている

【主に都民生活の観点から】

都市政策と福祉政策の連携により、様々な世代が安心して暮らせ、ゆとりある社会が実現しているとともに、世界一の交通インフラ網や多様性のある魅力的な地域資源に支えられ、ゆとりやにぎわい、人々の活発な交流を生み出し続けている

次頁以降に、より具体的な都市像のイメージを示す。

目指す都市像（イメージ）

【主に経済活力の観点から】

東京の持つ高度な技術や市場規模を活かした経済や産業の活力が地方へ波及しているとともに、世界やアジアの中の拠点としての地位を確立し、グローバル競争のトップランナーとして他都市を牽引し、世界をインスパイアしている

ビジネスセンター群が常に時代を先取りしながら更新し続けることで、新宿や品川などが大丸有と匹敵する拠点に生まれ変わり、金融やライフサイエンス、ものづくり、科学技術などの分野を中心に、世界中からヒト・モノ・カネ・情報が集まる国際的な拠点群が形成されている。

世界一の鉄道ネットワーク網が、高度に機能が集積する都心部の都市活動を支えている。

世界の先端技術を支える東京のものづくり技術が、圏央道をはじめとする広域的な道路ネットワークや、多摩都市モノレール、リニア中央新幹線などの都市基盤により、大学や企業の研究所、物流施設などの集積と結びつき、東京圏内だけでなく中京圏など他の圏域とも一体となった、産業拠点が形成されている。

世界が関心を持つ日本の技術を学びに、人口増加や経済成長が続くアジア各国の留学生や技術者が来訪し、日本のものづくり技術がアジア各国や世界に広まっている。

世界一の建築技術と省エネ技術により、発災時にも事業継続が可能となるビジネスセンターを形成するとともに、木密地域や地下街がより安全で快適な空間に生まれ変わることで、地震や水害などの災害リスクを克服し、高い防犯性と相まって、世界から安全・安心に暮らせ、働ける都市として評価されている。

世界をリードするエネルギー効率の高い超低炭素な都市として、拠点のビル群の街区を超えた面的なエネルギー融通が促進されている。

東京が日本全体のスマートグリッドの中核となり、地方の地域資源を活かした再生可能エネルギーとの連携が進展することにより、地方産業の活性化にも貢献している。

世界中から評価される江戸・東京の歴史や伝統文化と、奥多摩や島しょの自然、最先端技術、食文化、サブカルチャーなどが結びつき、国内外の人々を魅了し、観光が一大産業となった都市が形成されている。

東京が持つ発信力を活かし、都心と地方を結ぶ交通ネットワークを活用して、地方の活性化や東北の復興にも貢献している。

世界との玄関口である羽田空港の機能が更に強化され、東京港の港湾機能が拡充されるとともに、物流拠点の整備といった周辺の土地利用転換が進むことで、ビジネスや産業、観光などの新たな需要を喚起している。

目指す都市像（イメージ）

【主に都民生活の観点から】

都市政策と福祉政策の連携により、様々な世代が安心して暮らせ、ゆとりある社会が実現しているとともに、世界一の交通インフラ網や多様性のある魅力的な地域資源に支えられ、ゆとりやにぎわい、人々の活発な交流を生み出し続けている

世界に先駆けた高齢社会の都市モデルとして、都市計画や住宅計画と医療・福祉の連携や、高齢期になっても住み続けられる住宅や移動手段の整備が進み、若者から高齢者まで様々な世代が交流する地域コミュニティが生まれるなど、健康的な暮らしや多様なライフスタイルを支える、超高齢社会に対応した都市が形成され、世界に発信している。

世界初の渋滞のない大都市が幹線道路の整備により実現し、質・量ともに充実した歩行者や自転車が中心の道路空間が形成されている。

地域の資源や文化を活かした個性的で魅力ある拠点が、高度に発達した道路や公共交通のネットワークにより有機的に結ばれ、都民の活発な活動や交流を生み出す、人中心のにぎわいのある地域が形成されている。

世界に類のない都市内の貴重な農地が保全されるとともに、価値の高い農産物を生む農業の展開や、人々が緑や農に親しめる新たな交流やにぎわいの場の創出など、国内外の人々も楽しめる地域資源となっている。

自然の地形を生かした、人々が楽しめる水辺空間や、生物多様性に配慮したみどりの空間が整備され、それらが運河や河川などを活用した広域的な舟運ネットワーク等で結びつき、誰もが快適性を享受できる都市が形成されている。

テーマごとの整理

経済活力と都民生活の2つの観点から設定した都市像のイメージを、以下の7つのテーマごとに整理した。

経済活力を生み続ける世界最先端のビジネスセンターと、多様な個性ある拠点群

高度に発達したインフラが支える、人中心のゆとりとにぎわいあふれる都市

あらゆる災害に対応し、省エネで低炭素なスマートエネルギー都市

都民それぞれがライフスタイルに見合った住まいを選択できる都市

集約化された拠点を中心に活発なコミュニティが生まれる都市

身近に芸術に触れあえ、伝統と最先端が共存した文化都市

特色ある自然や地形を活かした、美しく風格ある都市

次頁以降に、テーマごとの方向性、想定される地域、具体的な内容を示す。

経済活力を生み続けるビジネスセンターと、多様な個性ある拠点群

方向性

- ・時代に応じて持続的に進化する、世界最先端のビジネスセンターが形成されている
- ・多摩地域において、東京圏内だけでなく他の圏域とも一体となった、産業拠点が形成されている
- ・多様な個性ある拠点を中心に、にぎわいと交流が生まれている

都市づくりビジョンにおいて中核拠点（都心・副都心・新拠点・核都市）を位置付け、交通利便性などを活かした業務や商業、文化などの機能集積により、東京圏の都市活力や都市文化をリードする拠点の形成を図ってきた。

今後も、東京の経済活力が日本を牽引し続けるため、都心のビジネスセンターが時代に応じて更新されるとともに、外国人もビジネスをしやすい環境を整備することが、多摩地域においては、大学や企業の集積と都市基盤の活用により産業を活性化することが求められている。また、それぞれの地域の特性に応じた多様な個性ある拠点を整備することが求められている。

想定される地域

拠点地区	■
中核拠点	●
生活拠点	●
大学	🏫
研究施設	🔬
物流施設	🚚
研修施設	🏢
先端的中小企業	🏠



経済活力を生み続けるビジネスセンターと、多様な個性ある拠点群

大手町・丸の内・有楽町地区では、業務機能のみに特化した拠点から、商業や飲食などを含む複合的な機能を備えた拠点への更新が進んでいる。また、渋谷地区においては大規模な更新プロジェクトが始まっているとともに、品川地区では新駅設置に合わせた開発が予定されている。今後も、複数あるビジネスセンターが時代にあわせて順次更新を続けることで、東京の経済活力が日本を牽引し続けるとともに、世界経済の中心であり続けている。

時代にあわせて順次更新を続けるビジネスセンター（イメージ）

京王プラザホテル 1971
 新宿三井ビルディング 1974
 都庁舎 1991
 新宿パークタワー 1994



出典:東京都資料



出典:東京都資料

丸の内ビルディング 2002
 新丸の内ビルディング 2007
 JPタワー 2012
 大手町二丁目地区 第一種
 市街地再開発事業 2018予定

山手線新駅 2020予定
 リニア開通(名古屋) 2027予定
 リニア開通(大阪) 2045予定



出典:東京都資料



出典:東京都資料

渋谷ヒカリエ 2012
 渋谷駅街区東棟 2019予定
 埼京線ホーム移設完了 2020予定
 渋谷駅地区の完成 2027予定

高質なビジネス環境の創出とともに、外国人ビジネスマンやその家族に対応した住宅や教育、医療施設等の整備が進み、世界企業にアジアの拠点として選ばれる拠点となっている。



左:国際ナショナル
 スクール
 中:サービス
 アpartment
 右:外国人対応の病院
 (イメージ)

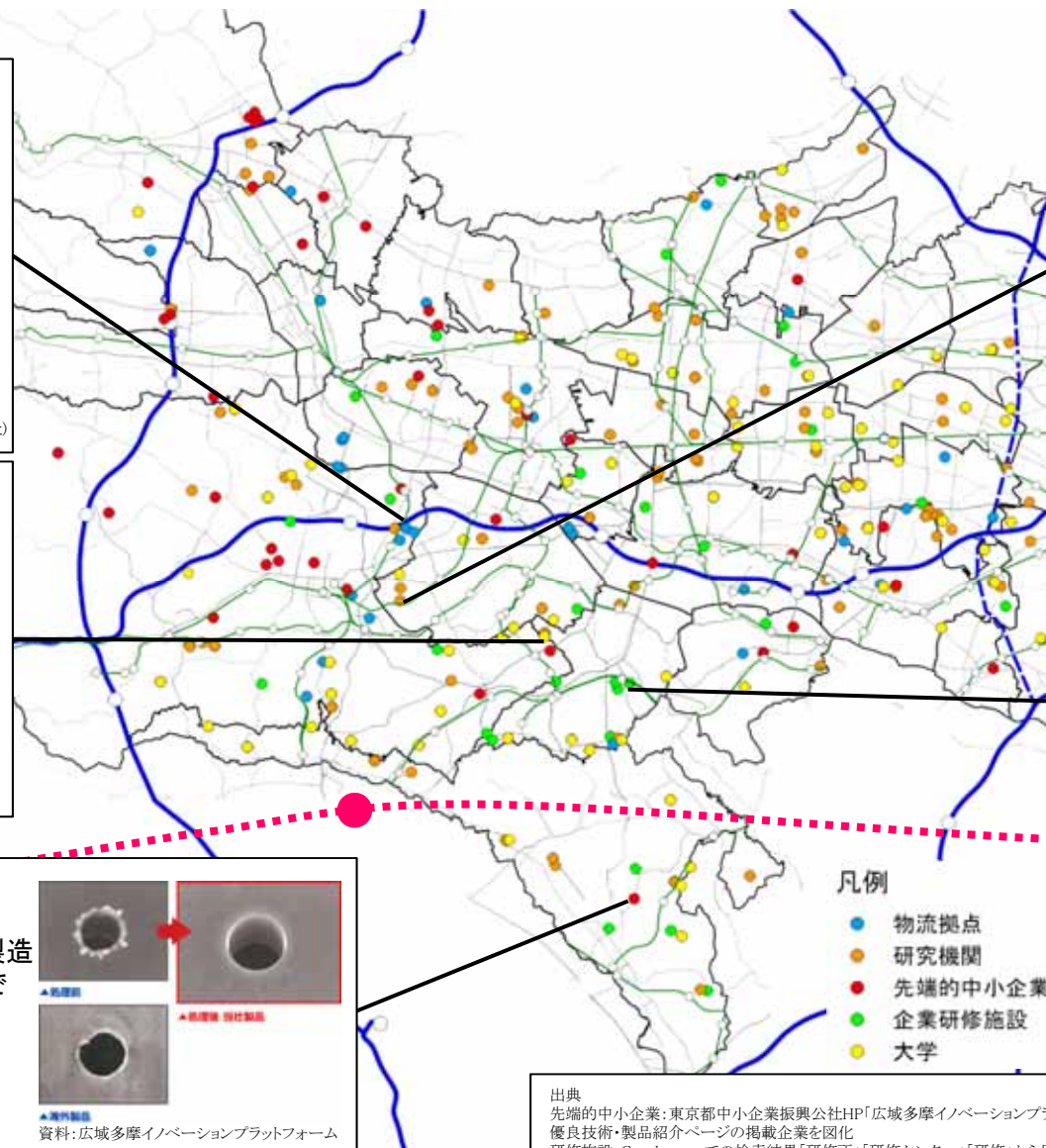


高質な
 オフィス環境
 (イメージ)

出典(各図とも):「東京発グローバル・イノベーション特区(提案書)」(平成26年3月/東京都)

経済活力を生み続けるビジネスセンターと、多様な個性ある拠点群

多摩地域には、大学や企業の研究施設、先端技術を持つ中小企業が集積している。これらが、圏央道をはじめとする広域的な道路ネットワークや、リニア中央新幹線などの都市基盤を活用して、東京圏内だけでなく、他の圏域とも一体となり、産業の一大拠点が形成されている。



■物流施設

Landport八王子(八王子市)
・八王子IC付近に位置するテナント型物流倉庫



出典:第2期(2014年2月期)決算説明会資料
(平成26年4月/野村不動産投資顧問株式会社)

■大学

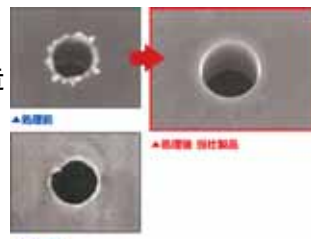
中央大学(八王子市)
・現在、約2万人の学生が在籍



出典:中央大学資料

■先端的中小企業

大和テクノシステムズ(町田市)
・理化学機器向けの精密部品を製造
・電子顕微鏡向けの電子銃部品で
国内100%、世界70%のシェア



資料:広域多摩イノベーションプラットフォーム

■研究施設

帝人先端技術開発センター
(日野市)
・帝人グループの研究開発拠点
・素材加工技術、医薬品、医療
技術に関する研究を行う



出典:アニュアルレポート2008
(平成20年7月/帝人株式会社)

■研修施設

JTBフォレスト(多摩市)
・データセンターを併設した社内
研修用施設
・宿泊研修にも対応



出典:一般社団法人日本建設業連合会資料

凡例

- 物流拠点
- 研究機関
- 先端的中小企業
- 企業研修施設
- 大学

出典
先端的中小企業:東京都中小企業振興公社HP「広域多摩イノベーションプラットフォーム」
優良技術・製品紹介ページの掲載企業を図化
研修施設:Google mapsでの検索結果「研修所」「研修センター」「研修」から民間企業が運営する研修施設を抜粋、図化
大学・物流施設・研究施設:国土数値情報

経済活力を生み続けるビジネスセンターと、多様な個性ある拠点群

都心部においては、大手町は金融、日本橋はライフサイエンス、六本木は国際ビジネス、渋谷はクリエイティブ産業、上野は芸術・文化など、個性ある拠点が形成されつつあり、周辺区部においては、自由が丘や吉祥寺、下北沢など個性的な拠点が形成され、また、多摩地域においては、大学や企業の研究施設、物流施設等の集積が進んでいる。

将来の東京では、拠点の特性を伸ばす取組や、江戸・東京の歴史や生活文化を活かした取組が進み、多様な個性のある都市が形成されている。



出典：一般社団法人奥多摩観光協会資料
奥多摩（自然・温泉）



出典：東京都資料
三鷹・調布・府中（スポーツ）



出典：本多劇場資料
下北沢（にぎわい・文化）



出典：新宿区資料
神楽坂（歴史・飲食）



出典：東京都資料

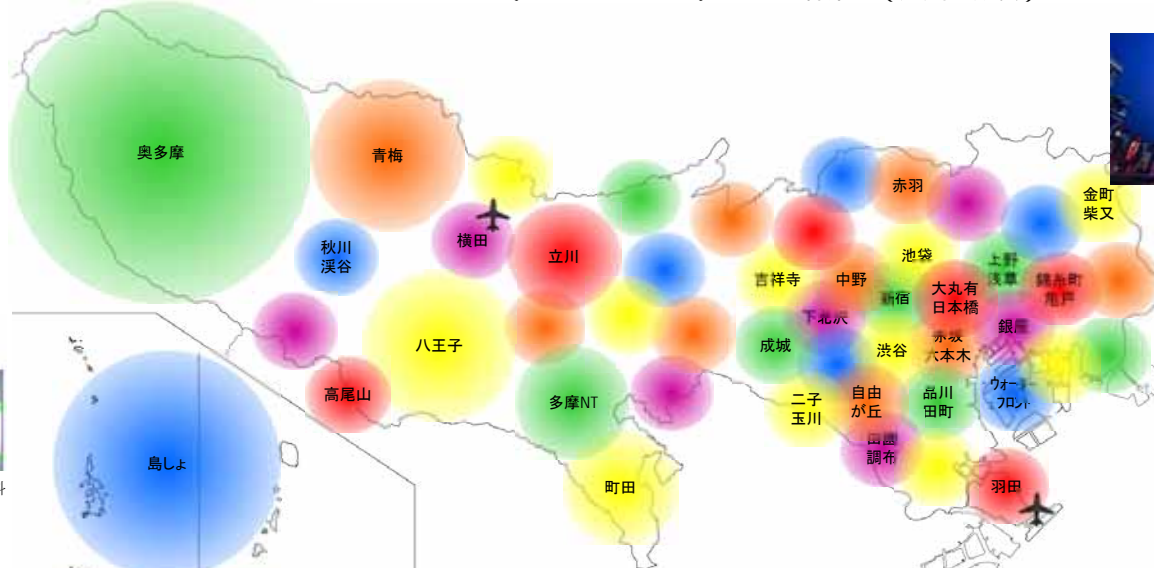


出典：東京都資料

上野（文化）・浅草（歴史）



出典：中央大学資料
多摩モノ沿線（大学）



出典：大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
大丸有（ビジネス）



出典：東京都商工会連合会資料
府中・日野・羽村（産業）



出典：東京都資料
銀座（商業・ブランド）



出典：国土交通省資料
圏央道沿線（物流施設）



出典：東京都長期ビジョン（平成26年12月/東京都）
島しょ（自然・文化）



出典：東京都資料
二子玉川（商業・住宅・業務）



出典：目黒区資料
自由が丘（雰囲気・商業）



出典：東京都資料
ウォーターフロント（商業・景色）

高度に発達したインフラが支える、人中心のゆとりとにぎわいあふれる都市

方向性

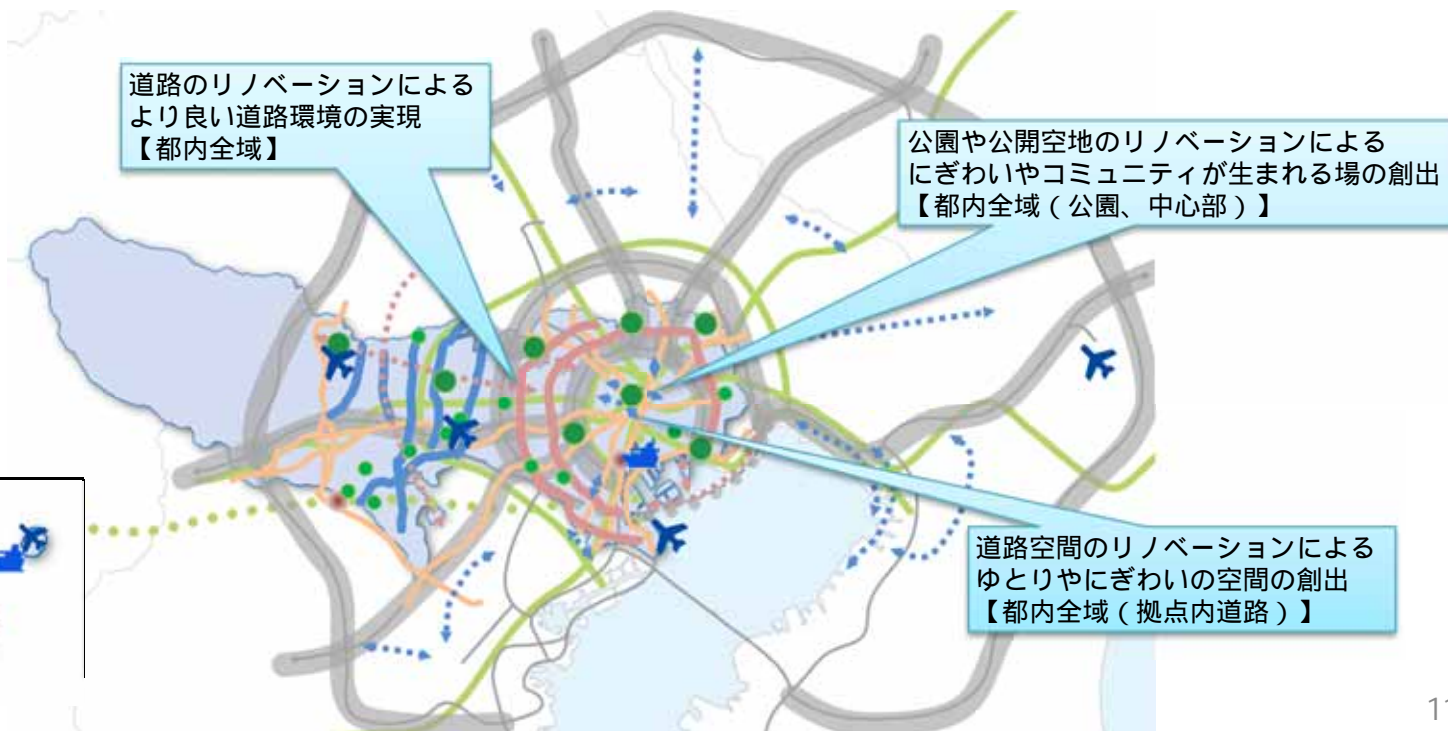
- ・骨格的な道路の完成により渋滞のない都市が実現し、既存道路のリノベーションが行われ、より良い道路環境が実現している
- ・拠点内の道路空間がリノベーションされ、ゆとりやにぎわい、交流の空間が創出されている
- ・公園や公開空地がリノベーションされ、にぎわいやコミュニティが生まれる場が創出されている

現在、三環状道路や区部環状道路、多摩南北道路を中心とした都市計画道路の整備を進めている。今後も、必要な道路整備を進めるとともに、高度に発達した鉄道のポテンシャルと幹線道路整備の進展に伴う交通状況の変化を踏まえ、既存の道路を自動車中心から人中心の快適な都市空間へ再構築することも求められている。

また、都市生活に潤いや安らぎをもたらす公園の整備や、市街地の環境改善に向けた公開空地の確保を進めている。今後も、都市内のゆとり空間となる公園や公開空地の整備を進めるとともに、にぎわいや活気、交流やコミュニティが生まれる場になるよう、様々な活動に使用できる空間にしていくことが求められている。

想定される地域

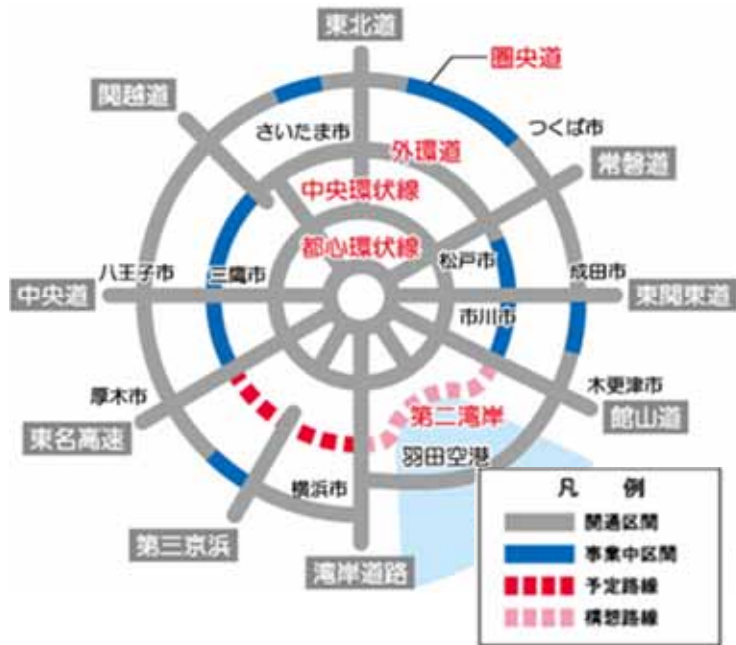
環7・環8	—
多摩南北・尾根幹線	—
直轄国道	—
検討路線	—
構想路線	—
大規模公園 (50ha以上)	●
(30-50ha)	●



高度に発達したインフラが支える、人中心のゆとりとにぎわいあふれる都市

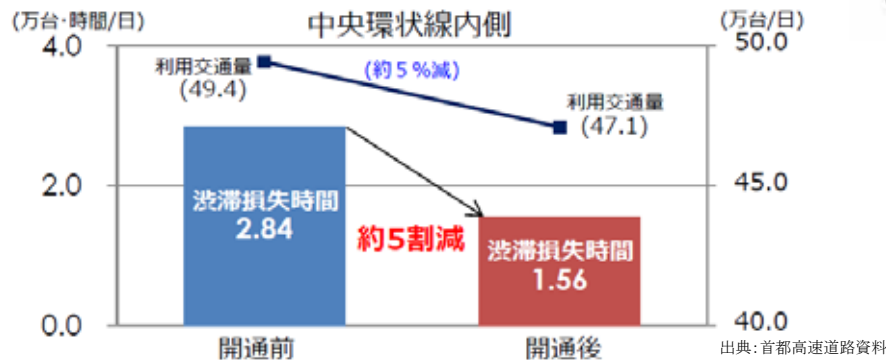
現在、三環状道路の整備を積極的に進めており、現在の整備率は72%である。2020年度までには約9割が開通予定となっている。
都市計画道路の整備、料金体系のマネジメント、ICTの活用、高速道路での自動運転車対応レーンの整備等により、自動車交通をコントロールし、より効率的な物流の実現や、骨格的な道路の更新、既存の道路のリノベーションが進み、より良い道路環境と沿道環境が創出されている。

三環状道路の整備状況



出典:国土交通省資料

中央環状線（湾岸線～3号渋谷線開通）の整備効果



出典:首都高速道路資料

首都高速道路のリノベーション



出典:首都高速道路資料

幹線道路のリノベーション



パリのトラム
車線の一部をトラムの導入空間へ転換した事例

出典: Paris Convention and Visitors Bureau 資料



日本橋川

高度に発達したインフラが支える、人中心のゆとりとにぎわいあふれる都市

幹線道路の整備により、通過交通が排除可能な拠点内の道路については、自動車中心から、みどり・歩行者・自転車・公共交通といった、人中心にリノベーションされた空間が広がっている。

東京都がはじめている取組

自転車走行空間の整備
(旧玉川水道道路)



出典:東京都資料

歩行者中心の空間

(上:丸の内仲通り、下:日本橋室町仲通り)



出典:公益財団法人 東京観光財団資料



出典:「室町東地区開発計画 第2弾」(仮称)室町東地区開発計画2-3街区
(平成23年11月/三井不動産株式会社)

国内外の取組事例

自転車走行空間のネットワーク化



(左上) 出典:コペンハーゲン市資料

(コペンハーゲン 自転車レーン)

連続した緑豊かな空間への転換



出典:フランクフルト市資料

(フランクフルト ツァイル通り)

車道から歩行者空間への転換



出典:ニューヨーク市資料

(ニューヨーク ブロードウェイ)

駅前道路のトランジットモール化



出典:姫路市市資料

(JR姫路駅前 トランジットモール)

高度に発達したインフラが支える、人中心のゆとりとにぎわいあふれる都市

現在、公開空地や広場、公園には多くの禁止事項があるが、様々な使い方ができ、コミュニケーションが生まれる場となるよう、施設の整備やルールの変更が行われている。また、みどりやゆとりの空間、防災拠点としてだけでなく、地域に必要な保育所や福祉施設の整備の場や、駅や道路等の公共空間との連続によりにぎわいが創出されるなど、有効活用されている。



公開空地の禁止事項
(イメージ)



出典:「東京のグランドデザイン検討委員会」第1回会議
工藤和美氏提出資料(平成27年6月/東京都)

都庁前の広場(都民広場)の現状



出典:「東京のグランドデザイン検討委員会」第1回会議
工藤和美氏提出資料(平成27年6月/東京都)

にぎわいのあるロンドンシティホール前広場

東京都ではじめての取組

上野公園では、飲食店2店(オープンカフェ)を設置し、にぎわいを創出している。

駒沢公園では、都立公園内で初めて、店舗デザイン・建築から運営までを行う民間事業者を公募により決定し、平成29年春にオープン予定となっている。



出典:東京都資料

上野公園 スターボックス

国家戦略特区での取組

国家戦略特別区域法 第20条の2(概要)

都市公園内における保育所等設置の解禁

保育等の福祉サービスの需要の増加に対応するため、保育所等の社会福祉施設について、一定の基準を満たす場合には、都市公園の管理者は占用を許可する。

高度に発達したインフラが支える、人中心のゆとりとにぎわいあふれる都市

公園や広場等の公共空間の活用については、地域が主体となってそこに必要な機能を考え、地域のマネジメントによる施設の整備及び運営を行い、にぎわいが創出され、また、地域のコミュニティが活性化されている。

にぎわいのある公園の例（練馬区 こどもの森）

遊びを見守るプレーリーダー（指導員）がおり、木登り、泥あそび、虫採りなど、子ども達が豊かな発想力やアイデアを膨らませて遊べる空間になっている。



出典：練馬区資料

地域の交流拠点の例（立川市 子ども未来センター）

市役所の移転に伴い、旧庁舎を活用して、子育て・教育支援、文化芸術活動支援、市民活動支援、にぎわい創出、行政の機能を確保した拠点に再整備されている。



出典：立川市子ども未来センター資料

公園のリニューアル例（ニューヨーク プライアントパーク）

麻薬取引が行われるなど人々が寄り付かない公園であったが、1980年から市が民間のマネジメントと資金、BIDの指定等により公園改善の取組を実施したことにより、ニューヨーカーの憩いにぎわいの空間となり、公園再生のモデルとなっている。



移動できるベンチが数多くあり、ランチやカフェとしても使用されている。



売店があり、夏場にはビールの販売も行われ、仕事帰りのビジネスマンが集まってくる。



ヨガや野鳥観察など、様々な習い事教室が開催されている。



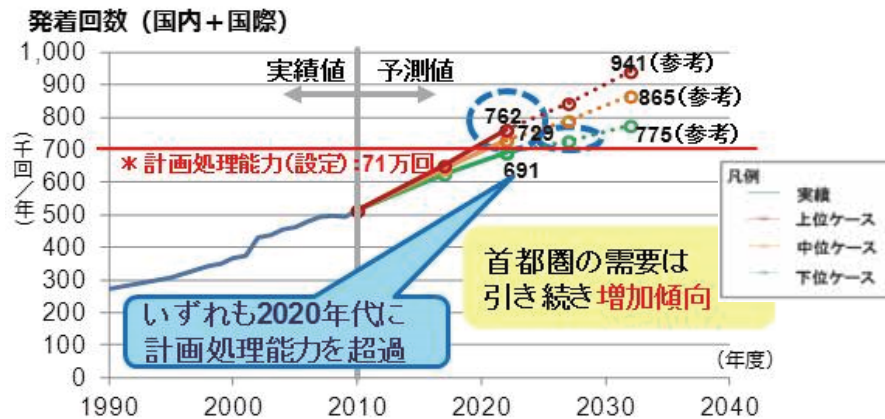
夏のコンサートや、冬のアイススケートなど、年間を通して多くのイベントが行われる。

出典：プライアントパーク資料

高度に発達したインフラが支える、人中心のゆとりとにぎわいあふれる都市

世界との玄関口である羽田空港の機能が更に強化され、東京港の港湾機能が拡充されるとともに、物流拠点の整備といった周辺の土地利用転換が進むことで、ビジネスや産業、観光などの新たな需要を喚起している。

航空需要予測（発着回数）



出典：首都圏空港機能強化技術検討小委員会の中間取りまとめ(平成26年7月/国土交通省)に一部加筆

新飛行経路（都心上空通過）による発着回数の拡大

南風時 新飛行経路（案）



北風時 新飛行経路（案）



出典：羽田空港のこれから(国土交通省HP)

空港からの舟運（ベネチア）

空港や鉄道駅との乗換え利便性の高い舟運ネットワーク



出典：ベネチア市資料

羽田クロノゲート（大田区）

空港に近接した、沿道の環境と調和し、地域貢献できる大規模・高機能物流施設



空港周辺の土地利用転換が進みMICEやアフターコンベンション機能の充実



出典：国家戦略特別区域会議 東京都都市再生分科会(内閣府)

あらゆる災害に対応し、省エネで低炭素なスマートエネルギー都市

方向性

- ・木密地域が地域の特色を活かして再生され、安全で快適な住環境が創出されている
- ・災害時にも自立して応急対応や事業継続が可能な都市が実現されている
- ・省エネルギーで低炭素なスマートエネルギー都市が実現されている
- ・豪雨対策や土砂災害対策が進み、安全で快適な生活環境が確保されている

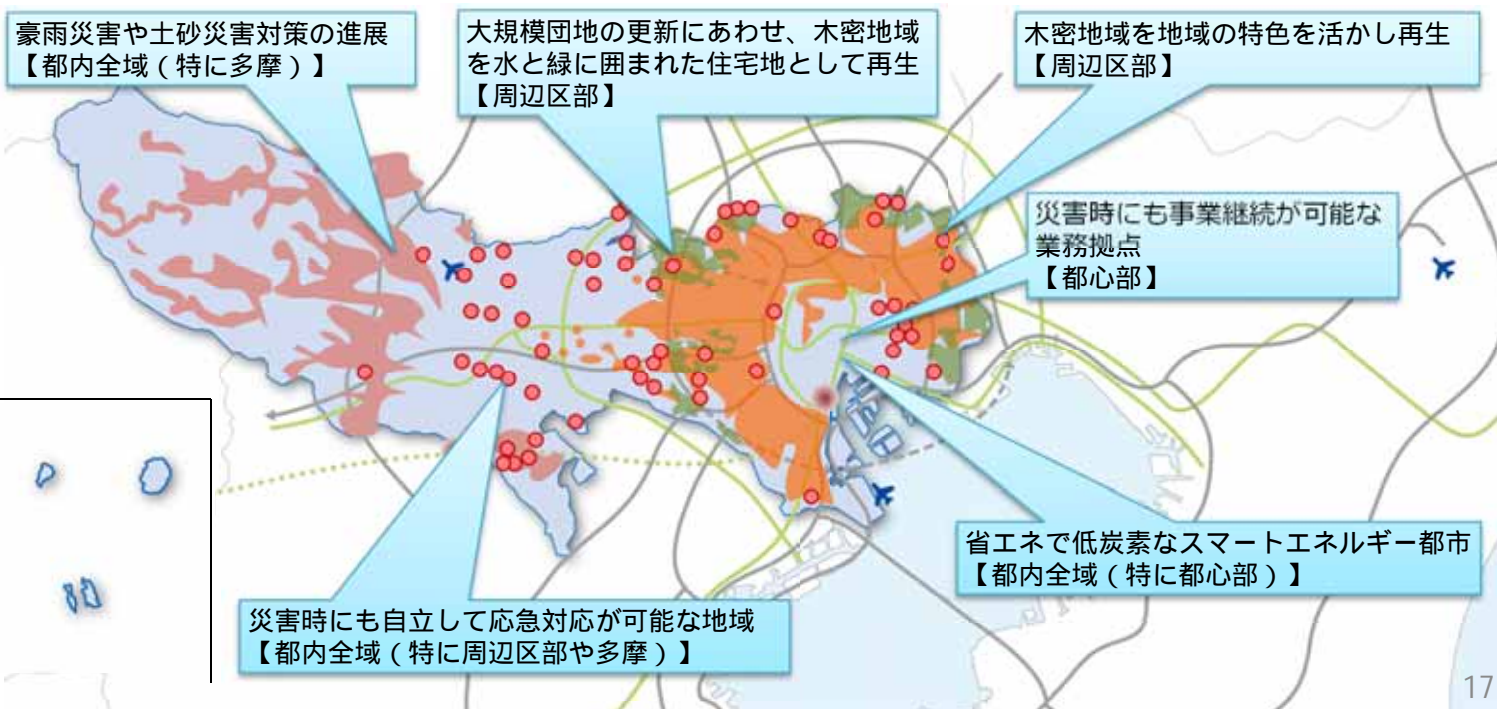
これまで、防災・減災対策として、緊急輸送道路の整備や沿道建築物の耐震化、延焼遮断帯や避難路などとなる都市計画道路の整備と建物の不燃化による木密地域の改善、民間企業に対し従業員のための水や食料等の備蓄を求めるといった取組を進めている。

大震災が必ず発生するという認識のもと、木密地域の解消と安全で快適な住環境の創出や、発災時に各地域が応急対応を行うことができ、また、ビジネスセンターでは事業の継続が可能となる、自立型都市の形成が求められている。

また、一層のエネルギーの効率化、未利用・再生可能エネルギーの利用、水素社会の浸透などスマートエネルギー都市が実現され、経済と環境が両立した世界のモデル都市となっていることが望まれる。

想定される地域

土砂災害警戒区域	■
木密地域	■
旧緑地地域	■
大規模団地	●



あらゆる災害に対応し、省エネで低炭素なスマートエネルギー都市

木密地域では、延焼遮断帯の整備や消防活動困難区域の解消など地域の安全性の確保に加え、地域の生活文化の表現や住民のコミュニティの場の確保が進むなど、安全で豊かな個性を感じることができる地区として再生されている。

また、周辺区部のみならず多摩地域を含め、木密地域の周辺にある大規模団地の建替による用地の創出などに合わせ、水と緑に囲まれた地区として再生されている。



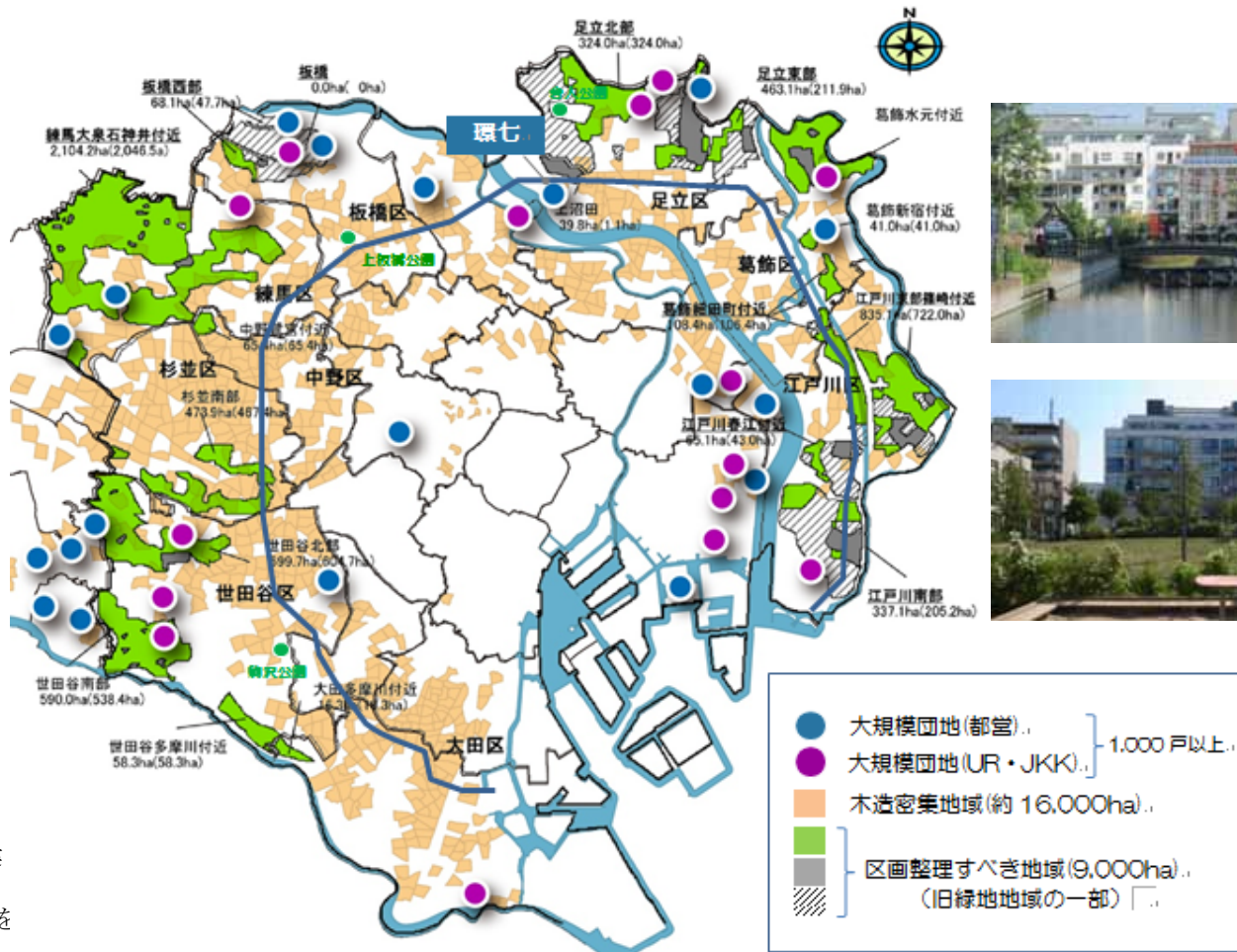
出典:公益財団法人 台東区芸術文化財団



出典:東京都資料

台東区 谷中地区

不燃化特区の取組の一方で、RC造の建物に対して周辺の街並みに配慮したファサードが与えられているなど、谷中らしさを活かしたまちづくりも進められている。地区全体として不燃化が進めば、消防水利の確保等の対策を講じたうえで、谷中らしい建物を保全することも検討できる。



木造住宅密集地域等と大規模公的賃貸住宅

木造住宅密集地域付近に大規模な公的賃貸住宅が立地している。公的不動産を活用し、木密地域を水と緑に囲まれた地区として再生することも考えられる。(写真は再生イメージ)

あらゆる災害に対応し、省エネで低炭素なスマートエネルギー都市

業務拠点では、耐震性の優れたオフィスビル、自立エネルギーの供給やBCP*対応、帰宅困難者対策が確立され、発災時にも事業が継続できる体制が整っている。

災害に強いBCP対応の業務拠点

日本橋室町地区

免震構造やバックアップ電源設備、断水・停電時にもトイレの利用が可能な井水設備の採用や、訓練の実施等により、企業のBCPをバックアップしている。



BCP対応オフィスビル



出典：日本橋の防災力向上に貢献（平成26年9月/三井不動産株式会社）

丸の内地区

コージェネレーションシステムによる電力確保、ろ過機による給水確保、非常用物資の貯蔵、避難訓練の実施等により、災害に強いビジネスセンターとなっている。



コージェネレーションシステム



ろ過機

出典：丸の内の防災まちづくり（平成25年8月/三菱地所株式会社）

災害時の電力供給のイメージ



スマートエネルギーシステムの導入 (柏の葉スマートタウン)

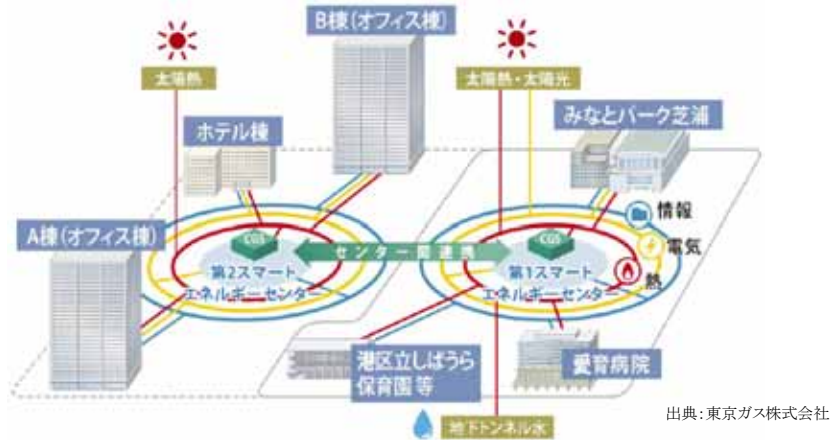
再生可能エネルギーや蓄電池を利用しながら、災害時に効果的にエネルギーを管理し、BCPやLCP(生活継続計画)対応を可能にしている。停電時にも業務・商業棟では通常時の6割程度の電力が3日間供給され、住居棟では非常用エレベーターや照明、共用部への電力供給が可能となっている。

* BCP：事業継続計画（Business Continuity Plan）の略称
大災害や事故などの被害を受けても重要業務が中断しないこと、もしくは中断したとしても可能な限り短い期間で再開することが出来るよう、事業の継続に主眼を置いた計画。

あらゆる災害に対応し、省エネで低炭素なスマートエネルギー都市

地域冷暖房やスマートエネルギーシステムの導入が更に進み、再生可能エネルギーや未利用エネルギー、水素エネルギーの利活用に加え、常に最先端の建築技術や設備、ICT技術を活用し、エネルギー消費量や温室効果ガス排出量が大幅に削減された都市を実現している。

田町駅東口におけるスマートエネルギーネットワーク構築プロジェクト

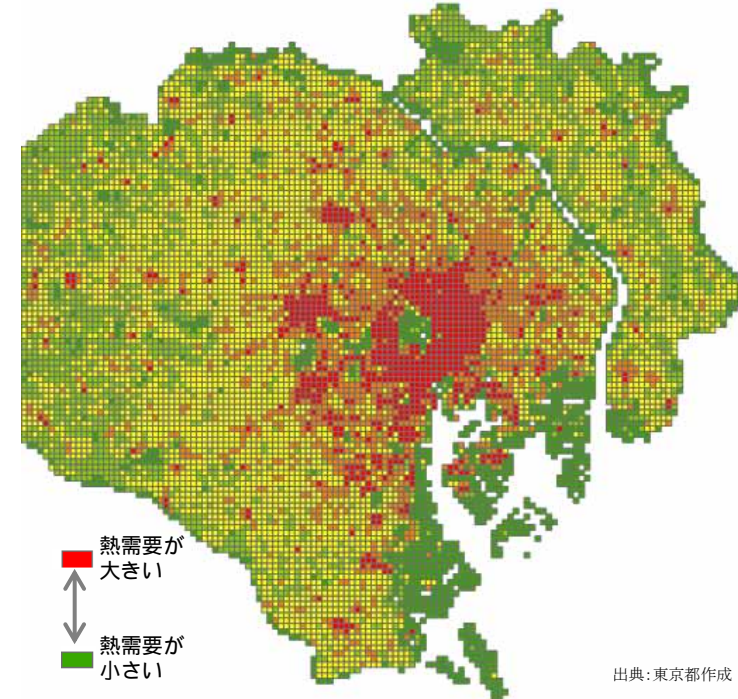


出典: 港区資料

オフィス、商業施設、ホテル等の施設を熱・電気・情報のネットワークで連携し、スマートエネルギーネットワークを構築。

再生可能エネルギー、ガスコージェネレーション、業務用燃料電池や空調熱源等を、ICTを活用して最適に制御することで、両街区全体でエネルギー需給の最適化を実現することを目指している。

都内の熱需要のイメージ



都内でも地域により熱需要は異なる。熱需要の大きな地区においてエネルギーの面的融通を図ることで、温室効果ガス排出量が削減されるなど、経済と環境の両立を図ることが可能となる。(図はイメージ)

オリンピック・パラリンピックを起爆剤とした水素社会の実現



出典: 東京都資料



出典: 東京都資料



出典: 東京都資料

オリンピック・パラリンピックを起爆剤として、2040年代には水素社会が実現している。
(左から)燃料電池バス、水素ステーション、選手村大会終了後のイメージ

あらゆる災害に対応し、省エネで低炭素なスマートエネルギー都市

各地域では、生活拠点等に物資の備蓄や非常用電源の確保、帰宅困難者対策が整うなど、自立して応急対応が可能な体制になっている。

自立可能な地域の整備に向けた取組



避難場所の整備

災害時の避難場所や大規模救出救助活動拠点に指定されている公園には、応急給水層やマンホール型トイレ、ソーラー照明灯などを設置している。また、舎人公園では、救助活動や舎人ライナーの運行に必要な電力を確保するため、公園内に非常用発電設備の整備を進めている。

上：かまどベンチ
中：マンホールトイレ（設置例）と井戸
下：大規模救出救助活動拠点

出典
上・中：江戸川区資料
下：都市計画公園・緑地の整備方針（改定）（平成23年12月/東京都）



地域防災力の向上 家庭での備蓄

地域住民による自助・共助の取組を進め、災害に強い地域コミュニティを構築する。

出典：東京の防災プラン～世界一安全・安心な都市を目指して～（平成26年12月/東京都）



防災ブック「東京防災」

各家庭が「東京防災」を活用し、様々な災害に対する備えが万全になっている。

出典：防災ノート「東京防災」の作成について（東京都）

拠点から離れた地域、特に多摩の山間部や丘陵部などにおいても、集約型地域構造への再編とコミュニティの活性化が進むとともに、豪雨災害や土砂災害への対策が進み、安全で快適な生活環境が確保されている。

住宅地に影響を及ぼした土砂災害の例



出典：広島市資料

広島市の土砂災害(H26.8)

集中豪雨により、土石流や斜面崩壊が発生



出典：防災科学技術研究所資料

八王子市川町の斜面崩壊(H20.8)

勾配19.3°の緩傾斜斜面で崩壊が発生し、その崩土により斜面直下の民家が倒壊（防災科学技術研究所HPより）

都民それぞれがライフスタイルに見合った住まいを選択できる都市

方向性

- ・良質な住宅ストックが形成され、そのストックは世代を超えて継承されている
- ・既存ストックの適正管理と多様な利活用が進んでいる
- ・マンションの適正な管理と最適な再生により、安全で良質なマンションストックが形成されている
- ・福祉施策と都市計画等との連携が進み、誰もが住み慣れた地域で住み続けられる住環境が形成されている
- ・豊かなコミュニティを育むヒューマンスケールな住宅市街地が形成されている

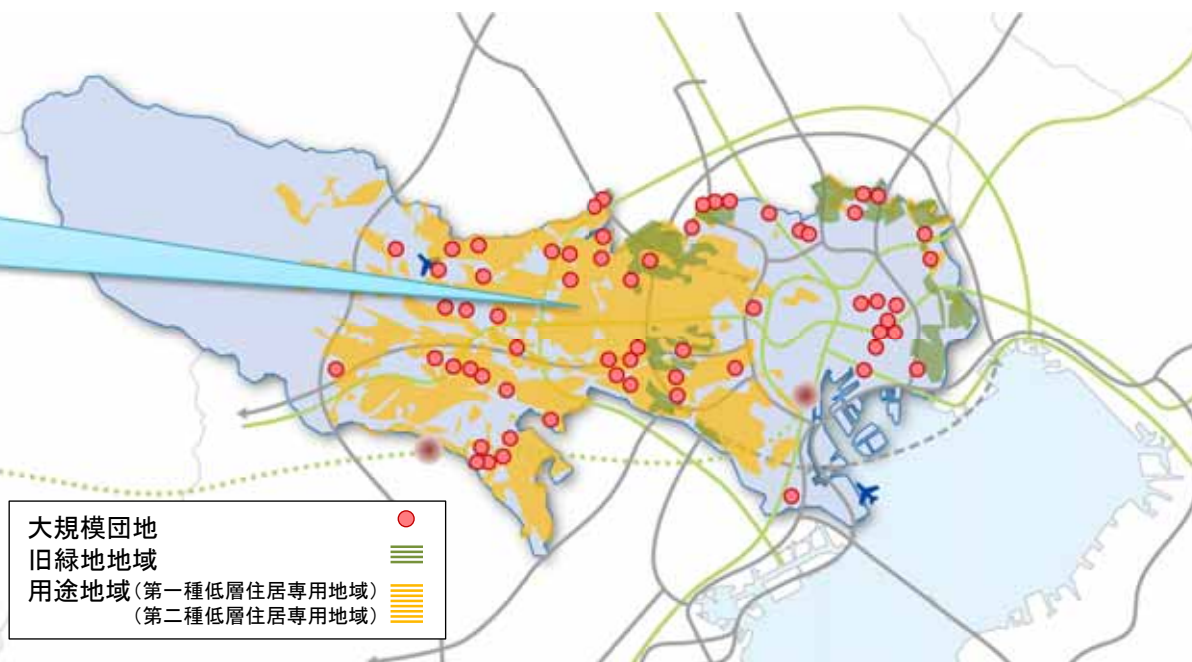
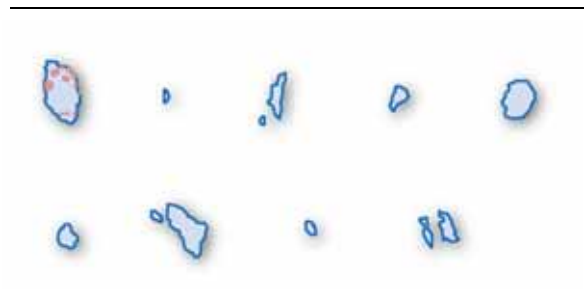
本格的な少子高齢・人口減少社会を迎える一方で空き家数は増加傾向にある。良質なストックの確保を通じて、既存ストックが世代を超えて長く使われる市場を形成することが求められている。

マンションが都民にとって不可欠な生活基盤であると同時に、都市や地域社会を構成する重要な要素となっている一方で、高経年マンションが増加していく。マンションの適正管理や最適な再生により、地域に根差した良質なストックとして管理していくことが求められる。

住宅は個人や家族の生活の場であるとともに、社会生活や地域のコミュニティ活動を支える拠点でもある。高齢期になっても住み続けられる住環境の形成や豊かなコミュニティを育む住宅市街地の形成が求められている。

想定される地域

- ・良質な住宅ストックの形成と中古住宅市場の活性化、既存ストックの利活用
 - ・マンションの適正な維持管理
 - ・福祉やコミュニティ形成に配慮した住宅市街地の形成
- 【都内全域】

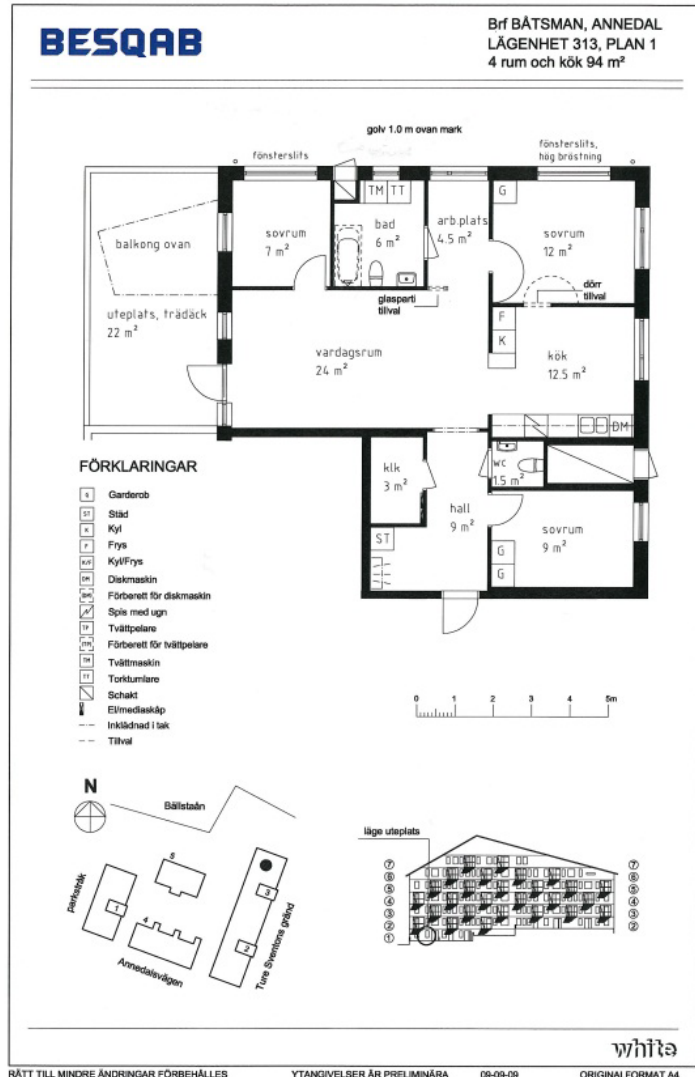


都民それぞれがライフスタイルに見合った住まいを選択できる都市

バリアフリー（アクセシビリティ）の確保、断熱性能などの省エネ性能の確保、リフォームが容易な可変性を有するなど、真に良質な住宅ストックが形成されることで、新築住宅にこだわらない価値観が形成される。

上記を背景に、住宅市場では既存ストックの流通量が増加し、新規供給のボリュームは小さくなっている。

既存ストックにおいては、必要に応じたリフォーム・リノベーションが行われ、住宅が世代を超えて長く利用されるようになっている。



劣化対策	数世代にわたり住宅の構造躯体が使用できること
維持管理・更新の容易性	構造躯体に比べて耐用年数が短い内装・設備の維持管理がしやすいこと
可変性（共同住宅・長屋のみ）	ライフスタイルの変化に応じて間取りの変更がしやすいこと
バリアフリー性	将来のバリアフリー改修に対応できること
省エネルギー性	必要な断熱性能などの省エネ性能が確保されていること

長期優良住宅のイメージ

良質な住宅ストックの拡大に向け、長期優良住宅の普及を促進することが有効。



出典：東京都資料



出典：東京都資料

リフォーム事例

中古住宅のリフォームにより、家族構成や趣味嗜好等に応じた住まい方が可能となる。

左) アクセシビリティが確保された住宅イメージ（スウェーデン スtockホルム）

計画建築法によりアクセシビリティが確保された住宅が供給される。

都では、共同住宅において、バリアフリー条例により共用部のバリアフリーを促しているが、専用部のバリアフリーは規定していない。

都民それぞれがライフスタイルに見合った住まいを選択できる都市

空家となったストックに関して、外部不経済をもたらすような不良ストックの除却が進む。利用可能なストックについては、リノベーション等が進み、住宅としての利用にとどまらず、高齢者へのサービス拠点や子育て支援施設など地域に必要な施設としても利活用されている。また、立地条件などにより、観光や二地域居住などの拠点としても利活用されている。



出典:空き家再生等推進事業(国土交通省)

不良なストックの除却(福井県越前町)

外部不経済をもたらす不良ストックの除却が進み、跡地が有効に活用される。



出典:国総研プロジェクト研究報告第26号 第5章(平成21年2月/国総研)

空家を活用した福祉サービス拠点(横浜市)

NPOが空家を活用し、介護保険事業や障害者自立支援事業を展開している。



出典:国土交通省資料

空家を活用した農家民泊(兵庫県篠山市)

空家が農家民泊施設として再生された事例。交流が生まれ地域の活性化にも寄与している。

マンションの良好な維持管理やストックの特性等に応じた再生が進み、地域貢献施設の確保や地域コミュニティ活動への参加など、安全で良質なマンションストックが形成されている。また、稠密な市街地におけるマンション再生では、周辺と一体となった再生も進んでいる。



出典:新たな多摩のビジョン行動戦略(平成26年3月/東京都)

分譲マンションの建替え事例

多摩市諏訪2丁目住宅では、昭和46年に建設された住宅を建替え、コミュニティカフェやデイサービス等の介護支援施設、認可保育園等を整備し、街の賑いの再生や新たなコミュニティの形成などの成果が生まれた。今後、他のマンションでは駅からの距離など地域の実情に応じた再生を進めていくことが必要となる。



出典:東京都資料

団地再生事例

多摩平団地では、団地の再生に合わせて、まちづくり用地を創出し地域の活力の維持向上を図るとともに、既存ストックのリノベーションにより、菜園付住宅やシェアハウス等の供給を行う、豊かなライフスタイルを実現している。

都民それぞれがライフスタイルに見合った住まいを選択できる都市

地域包括ケアシステムなど福祉施策と住宅計画、都市計画等との連携が進み、住宅市街地において介護や医療の拠点が適正に配置されるなど、誰もが住み慣れた地域で住み続けられる住環境が形成されている。



出典：福祉先進都市・東京の実現に向けた地域包括ケアシステムの在り方検討会議 第4回
園田眞理子副委員長講演資料(平成27年9月/東京都)

郊外住宅地では開発年代ごとに高齢化が進む

郊外住宅地では開発された年代ごとに高齢化が進むと想定される。高齢者が住み続けられる環境整備が望まれる。



出典：都市づくり調査特別委員会 第1回 水村委員提出資料(平成27年9月/東京都)

医療・介護拠点が適切に配置した市街地（オランダ アルメル）

都市計画と医療・福祉供給計画が連携し、医療・介護拠点が適切かつ公平に配置されている。介護が可能な住宅と介護サービスの提供可能な環境が整うことで、住み慣れた住宅で住み続けることが可能となる。

多世代が住まい、豊かなコミュニティが生まれるよう、景観に配慮された美しい街並みやヒューマンスケールに配慮した街並みとともに、人が心地良くなるよう細部までデザインされた住宅市街地が形成されている。



出典：人間の街 公共空間のデザイン

大きな空間と大きな建物で構成される住宅市街地では、賑いや活気が見られない例もある。

一方、ヒューマンスケールで構成され、住宅前の植え込みなどデザインに配慮された住宅市街地では、高齢者をはじめとして人々のコミュニティが生まれている。

集約化された拠点を中心に活発なコミュニティが生まれる都市

方向性

- ・ 集約型地域構造への再編が進み、地域のコミュニティが創出され、交流人口が拡大されている
- ・ 地域の資源を活かし、地域が主体となったまちづくりが行われている
- ・ 整備された道路や公共交通が利用者のニーズに合った使われ方をされ、交流の活性化を支えている

現在、都市に必要な機能が交通結節点周辺などを中心に集積し、公共交通の利用等により、誰もが人、モノ、情報等の集積メリットを容易に受けられる市街地を目指し、都市づくりを進めている。

今後は、2040年代には少子高齢化が一層進展することを見据え、特に高齢者施設や子育て支援施設などの誘導や、地域コミュニティを活発化させる場の創出が求められている。また、それぞれの地域が高齢社会を支える地域包括ケアシステムの受け皿となり、地域が主体となって安心して快適な生活が送れるまちづくりを進めることが求められている。

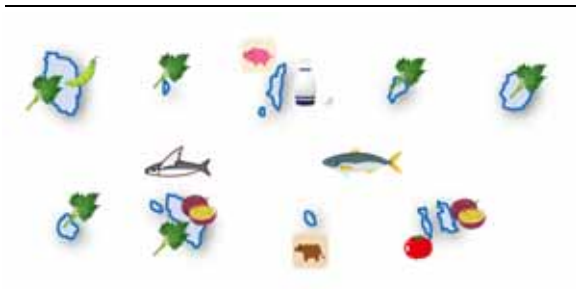
想定される地域



地域の資源を活かしたまちづくり
【都内全域（特に周辺区部や多摩、島しょ）】

ユニバーサルデザインの公共交通
安全で快適な道路
高齢者の移動手段の確保
【都内全域】

集約型地域構造への再編
地域コミュニティの創出
【都内全域（特に周辺区部や多摩）】



集約化された拠点を中心に活発なコミュニティが生まれる都市

都市機能の集約化に併せ、憩いやにぎわいが生まれる広場や公園、コミュニティ施設、子育て支援・高齢者施設、住民のニーズに応じた活動（地域活動、ボランティア、スポーツ、文化活動等）の場、働く場など、様々な世代が必要とする場が提供されている。



岩手県紫波町 オガールプラザ

町立の図書館、子育て支援施設等と、民営の産直販売所、居酒屋、医院等が集約された施設。活力とにぎわいを創出している。

出典:オガールプラザ資料



アメリカ ポートランド

職住遊が近接し、歩いて暮らせる、アメリカで最も住みやすいとして知られている都市

出典:全国市街地再開発協会資料
「第46回海外住宅・都市開発事情視察」

統廃合となった小学校や商店街の空き店舗、大規模団地建替時の創出用地などの活用により、自宅から徒歩圏内に地域コミュニティの核が創出されており、子どもから高齢者まで全ての人々の交流が活発化されているとともに、住民参加型のまちづくり・地域インフラ整備が推進されている。



調布市立調和小学校

PFIにより建設され、維持管理とプールの地域開放をPFI事業者が行っている。

NPOの総合型地域スポーツ・文化クラブにより、40以上のサークルが活動しており、地域の健康増進やコミュニティの醸成に寄与している。

出典:調布市資料



出典:東京都資料

住民参加型の まちづくり、道路・公園整備

左:まちづくりのワークショップの例
下:住民参加による公園の植樹の例



出典:東京都資料

集約化された拠点を中心に活発なコミュニティが生まれる都市

地域の資源や特性、文化などを活かし、個性ある拠点の形成と地域間交流の活性化が進み、多様な働き方や住まい方が生まれている。例えば、空き家や空き店舗を活用した若者の起業支援や地方企業等の支援、農地や生産緑地を活用した文化やコミュニティの育成、東京ブランドの農産物や畜産物等を活用した産業の活性化、観光資源を活用した国内外からの観光客の誘致、大学や企業、新たな交通ネットワークを活用した産業の育成などが行われている。



空き家への企業誘致

ベンチャー企業などが、空き家を活用して、場所を選ばないテレワークでビジネスに取り組んでいる事例も増えてきている。

出典：地方のポテンシャルを引き出すテレワークやWi-Fi等の活用に関する研究会（総務省）



出典：特定非営利活動法人
神奈川県日本ユーラシア協会



出典：特定非営利活動法人
神奈川県日本ユーラシア協会

ダーチャ（ロシア）

都市郊外にあり、週末に通う家庭菜園付住宅。ロシア人の約85%が保有している。

必要な都市計画道路や鉄道ネットワーク整備により、ユニバーサルデザインの公共交通の導入、安全で快適な歩行者空間や自転車走行空間のネットワーク化など、安全で快適な道路や公共交通が実現するとともに、超小型モビリティの普及や高齢者の移動を容易にする新たな交通手段の導入などにより、拠点間の移動の活発化や、生活中心地と拠点との移動の確保が実現している。



出典：The Metropolitan Transportation Authority資料

歩行者、自転車、バス（BRT）、自動車 が分離された道路

道路ネットワークを整備することで、交流を活発化させる。



出典：コペンハーゲン市資料



出典：守山市資料



出典：三菱総合研究所資料

左上：BRT
左下：デマンドバス
右上：自転車ごと乗れる
鉄道（ポルゲツ）
右下：超小型モビリティ

バスからBRTへの転換や、オンデマンドバスの導入など、ニーズに合わせた公共交通の整備により、移動手段を充実させる。





身近に芸術に触れあえ、伝統と最先端が共存した文化都市

方向性

- ・ まちの文化が継承され、さらに個性を増し、それを活かしたイベントが展開され、活気にあふれている
- ・ 東京のまちがもつ文化の魅力が海外にインスパイアされ、さらなる観光客でにぎわっている
- ・ 学校などの地域資源や低未利用地を活用し、新たな芸術・文化の表現できる空間が創出されている
- ・ 誰もが身近に芸術・文化を体感できる空間が創出されている

これまで、そのまち特有の芸術・文化が感じられるまちづくりを進めてきており、個性あふれる多様なまちが集積している。今後も、まちの個性を一層進展させるような都市づくりを行い、まちのにおいが感じられるような都市を形成することが求められている。また、本格的な人口減少社会の到来が予測される中、観光客を呼び込み、今まで以上ににぎわいを創出するために、世界の他都市にない芸術・文化の側面での東京のまちの魅力を向上する必要がある。さらには、公共空間の使い方の見直しの機会を捉え、地域資源や低未利用地を活用して、身近に芸術・文化の空間を創出する必要がある。

想定される地域

日本庭園	
神社・仏閣	
花見・紅葉	
夜景・テーマパーク	



身近に芸術に触れあえ、伝統と最先端が共存した文化都市

これまで、都市再生の機会を捉え歴史や芸術・文化の場を創出してきた。こうした取組がさらに都市開発の機会に進展するとともに、まちがもつ歴史や生活文化などを継承していく事で、まちに根差した文化が定着し、まちのにおいとして人々を惹きつける魅力あふれる都市が形成される。その中で、まちの文化を活かしたイベントが催され、多様なにぎわいが創出されている。

まちがもつ歴史や文化のにおいが内包され、芸術・文化を通じた賑わいが創出される都市が形成



出典:青梅市教育委員会資料

(青梅)



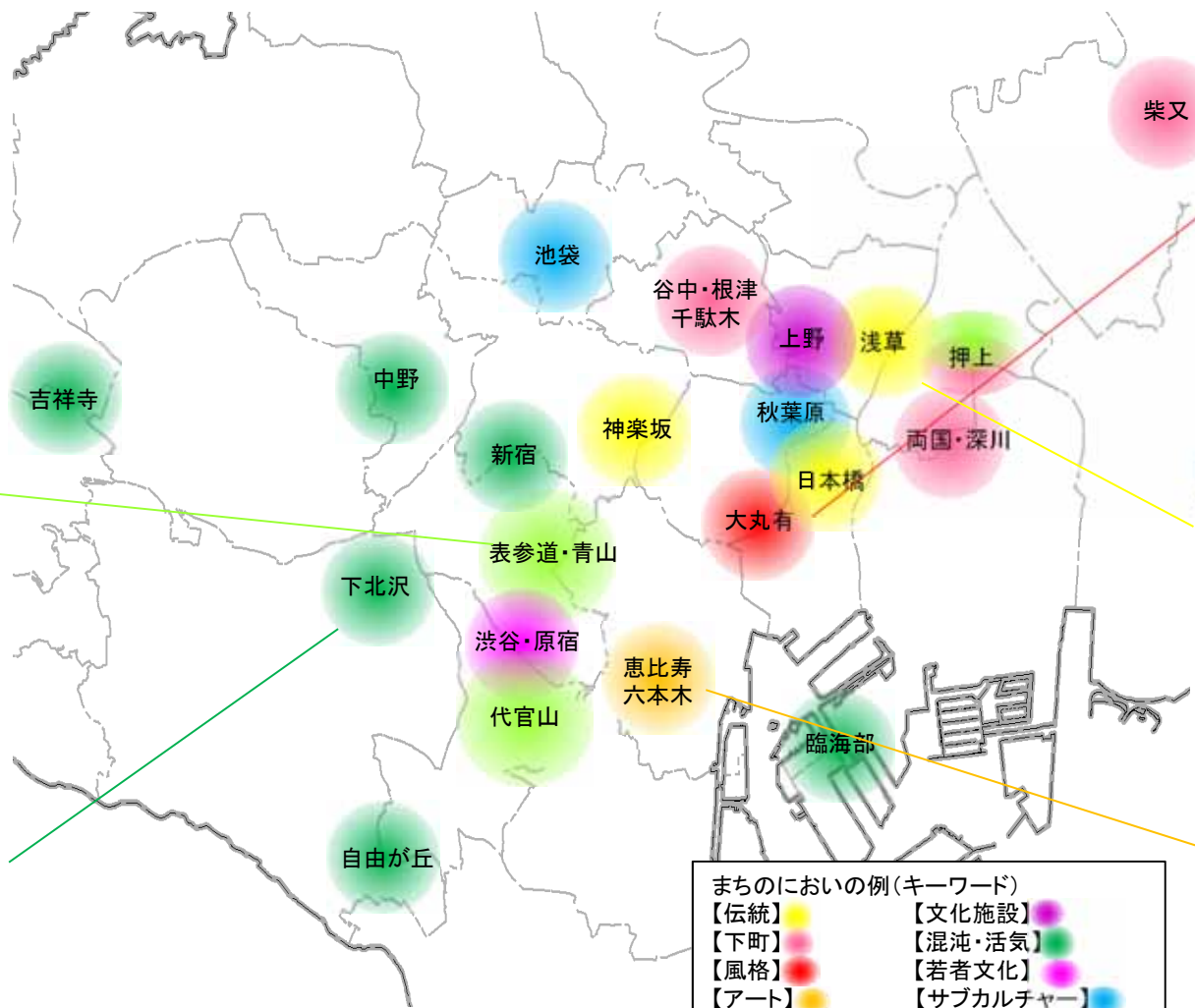
出典:東京都資料

(表参道)



出典:世田谷区資料

(下北沢)



まちのにおいの例(キーワード)

【伝統】	【文化施設】
【下町】	【混沌・活気】
【風格】	【若者文化】
【アート】	【サブカルチャー】
【最先端、洗練】	



出典:東京都資料

(丸の内:三菱一号館)



出典:浅草神社奉賛会

(浅草:三社祭り)



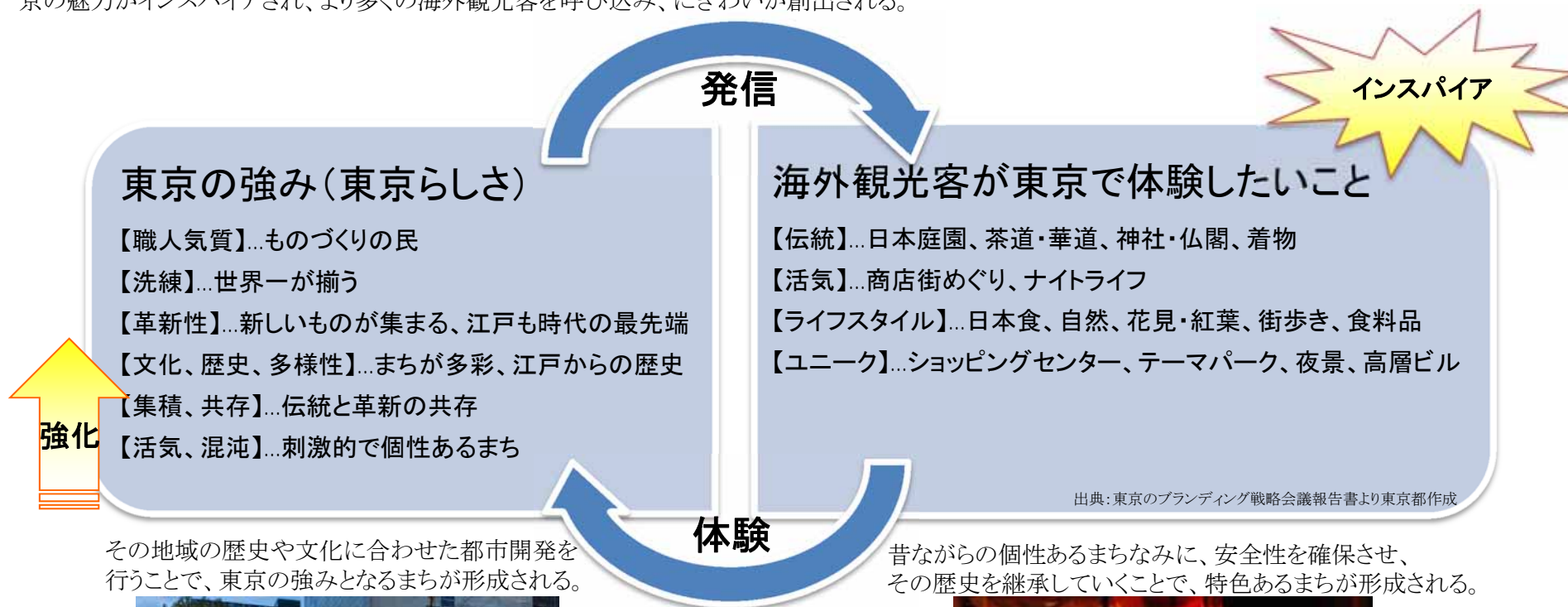
出典:六本木ヒルズ資料

(六本木:アートナイト)

身近に芸術に触れあえ、伝統と最先端が共存した文化都市

世界の都市として持続的に発展させるためには、芸術・文化の側面で東京の強み（東京らしさ）につながるものを明らかにし、それをまちの個性として継承しながらまちづくりを推進する必要がある。このことが東京らしさを一層際立たせ、また、その魅力を海外へ発信することにより、さらなる観光客を呼び込み、にぎわいが創出される。

世界の他都市と比べ、芸術・文化の側面で東京の強みとなる個性をより一層強化するとともに海外へ発信する。東京の個性に興味を抱く海外観光客に東京の魅力がインスパイアされ、より多くの海外観光客を呼び込み、にぎわいが創出される。



その地域の歴史や文化に合わせた都市開発を行うことで、東京の強みとなるまちが形成される。



出典: 三井ショッピングパークアーバン資料
(日本橋室町)

昔ながらの個性あるまちなみに、安全性を確保させ、その歴史を継承していくことで、特色あるまちが形成される。



出典: 公益財団法人東京観光財団資料
(吉祥寺ハーモニカ横丁)

身近に芸術に触れあえ、伝統と最先端が共存した文化都市

少子高齢化に伴い、学校が廃校になるなど、地域資源について従来の利用形態を見直す契機が訪れる。それら施設のリノベーションの機会を捉え、芸術・文化を表現する場が創出されている。また、今まで活用されてこなかったような低未利用空間が芸術・文化を表現する場として利用され、都市のいたるところで芸術を表現する空間が広がっている。

アーツ千代田3331（千代田区）

廃校となった中学校の校舎を、アートギャラリーなど文化的活動の拠点として利用。昼間は子連れの親子が、夕方には宿題をする子供の姿も見られる。



出典:アーツ千代田3331資料

舞台芸術活動支援センター（中央区）

廃校となった都立高校の旧校舎を、演劇稽古場の提供を中心に、都民のための交流の場として活用されている。



出典:水天宮ビッド資料

新国立美術館前 六本木トンネル内（港区）

都立施設の壁面等をペインティングの場として開放することにより、アーティストに新たな表現の場を提供している。



出典:東京都資料

自動車に頼らないまちづくりを進めるにあたり、車道などの公共空間を、人を中心とした空間へと使い方を変えていく。都内いたるところで芸術・文化を体感できるような空間が創出され、誰もが気軽に芸術・文化に触れあえるまちとなっている。

コペンハーゲン ストロイエ

公共空間の使い方を見直し、街中に芸術・文化を表現できる空間が創出され、憩いにつながっている。



パリ セーヌ川

安全性が確保された川岸で、誰もが芸術表現できる空間が整備され、にぎわいが創出されている。



ロンドン ハイドパーク

公園に、著名芸術家が作成したアートが展示され、気軽に体感できる。



特色ある自然や地形を活かした、美しく風格ある都市

方向性

- ・観光・文化施設や舟運を活用した、新たな水辺空間が創出されている
- ・都市の開発に合わせ、かつての東京の自然地形が回復され、憩いの場が創出されている
- ・都市農地は、新たなコミュニティを生む貴重な空間として保全、活用されている

都市の成長過程で失われた水辺・みどりを都市開発に合わせ復元し、生活に憩いや潤いを与えることが求められている。市街化区域内の農地は、都市計画では宅地化する予定の土地として位置づけられている。しかし、人口減少社会においては、住宅の過剰供給や空き家などが問題となっている。都市に残された貴重な資源の保全や活用方針について検討が求められる。

想定される地域



特色ある自然や地形を活かした、美しく風格ある都市

都心部の河川は、明治以降の近代化や震災・戦災復興、その後の経済成長を支えるために、やむなく埋め立てられ暗渠となったものや高速道路に覆われることとなったものが存在する。

都市基盤の更新などを契機にこれらの河川が復活され、東京が再び水の都となり、水辺ににぎわいが生み出されている。

都市開発に合わせた失われた水辺の復活に向け、取組が進んでいる。

渋谷川の再生



出典:東京都長期ビジョン(平成26年12月/東京都)

都市の発展に伴って失われた水辺景観



出典:日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会

道路下で暗渠となっている河川



出典:国土交通省

失われた河川の状況



出典:東京都作成

にぎわいと潤いのある水辺空間が創出され、東京が再び「水の都」となっている。



出典:公益財団法人ハイライフ研究所資料
(デンマーク オーフス川)

イベントを盛り上げる舟運の活用



出典:東京都資料

かつての流れに沿って復活した玉川上水

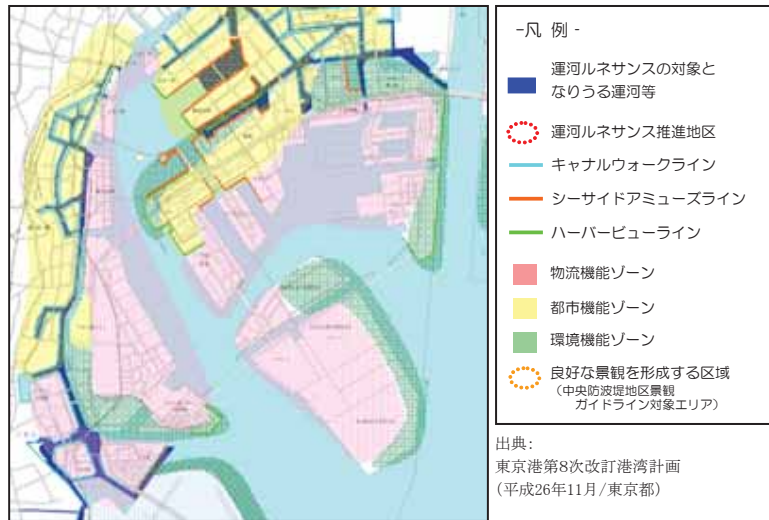


出典:新宿区資料

特色ある自然や地形を活かした、美しく風格ある都市

海上公園、MICE、東京ビックサイト、オリンピック・パラリンピック施設など、多くの観光・文化施設や公園の整備が進んでおり、これらが舟運などでネットワーク化され、水とみどりに囲われた新たなウォーターフロントが形成されている。

東京湾と臨海部の公園を一つの海上公園と捉え、水とみどりのネットワークが形成されている。



2020年大会に向けて整備された施設が、文化・教育を発信するスポーツクラスターとしてにぎわいを生んでいる。



出典:立候補ファイル第2巻(平成25年1月/東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会)

臨海部と河川が舟運でネットワーク化され、船着き場周辺の拠点整備により魅力が向上し、水辺ににぎわいが創出されている。



出典:公益財団法人 東京都公園協会資料

山や川、海などの自然資源の活用により、活力やにぎわいが生まれている。

様々な自然資源の魅力を活用した観光客の誘致により、地域に活力が創出されている。



出典:東京都資料

出典:京都市産業観光局観光MICE推進室資料

左:高尾山 右:川床のイメージ

東京湾の水質改善により、海水浴が可能となり、にぎわいが創出されている。



出典:公益財団法人東京都公園協会資料

葛西海浜公園

島しょにおいては、島の観光資源に加え、農業・漁業を、空き家に滞在しながら体験できる、新たなレジャースタイルが展開している。



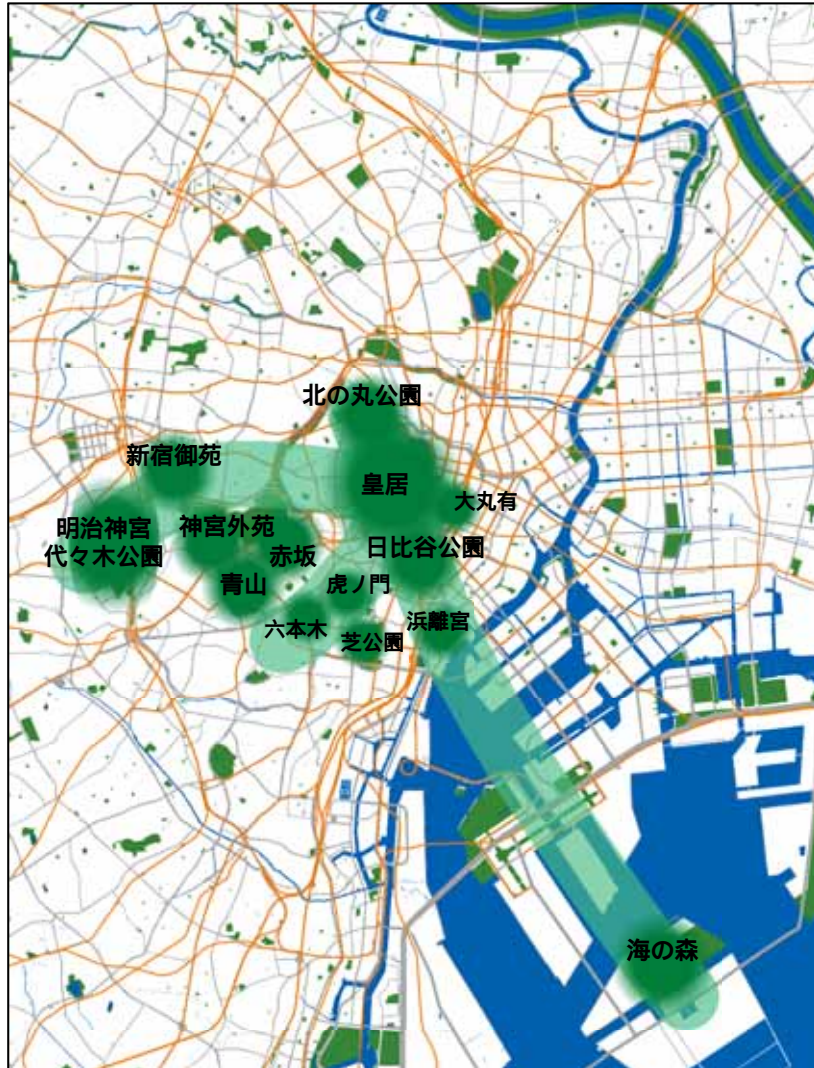
出典:東京都長期ビジョン(平成26年12月/東京都)

小笠原

特色ある自然や地形を活かした、美しく風格ある都市

都心には、皇居なども含めると、多くのみどりが存在する。これらがネットワークされ、一つのみどりとして活用されている。かつての地形を意識し、規模や配置など、より自然に近い形での緑化が進み、賑わいが創出されている。

臨海部から都心に向けて大規模な緑や水辺がネットワークされ、水とみどりのネットワークが形成される。



都市開発に合わせ、かつての東京の自然地形を考慮した緑化を進め、その先に大規模な緑地空間が都心の真ん中に創出されている。

潜在自然植生に配慮した取組事例

仙石山森タワーの緑の配置



周辺の緑のネットワーク



出典:生物多様性の回復に向けた在来種植栽フォーラム 森ビル株式会社事例報告(平成27年1月/東京都)

上：仙石山森タワー

在来の植物による高中低木から地被類までの林層構成をもち、生きものすみかとなる枯れ木の設置や、敷地の表土を保存・利用するなど、生物多様性に配慮している。



左：大手町の森

樹種や木の配置を均等にせず、より自然に近い形での緑化が行われ、かつての地形が復元されている。

特色ある自然や地形を活かした、美しく風格ある都市

東京の農地は、相続などにより年々減少傾向にあるが、現在では宅地化農地が約1,000ha、生産緑地が約3,500ha存在する。その面積は全国の農地面積の4%であるが、その4%で全国の農業販売額の8%を占めるなど付加価値が高い。そうしたものが保全され、地域コミュニティににぎわいを創出し、農業が活性化している。

付加価値の高い東京の農地

東京都の農業は全国と比較すると、1戸当たり経営耕地面積は小さいが、10a当たりの農業産出額は2倍以上となっており価値が高い。

	専業農家1戸当たりの 経営耕地面積 (a)	10a当たりの 農業産出額 (万円)
東京都	70.6	36.7
全国	196.1	16.6

出典：東京農業振興プラン(平成24年3月/東京都)

小規模な農業が成立し、機能する手立てが講じられるとともに、都市的土地利用との調整が強化された、活発な農業経営が行われている。



出典：東京都資料

周辺区部の農地では、援農を必要とする農家と農業体験を希望する市民とが繋がり、新たなコミュニティが創出されている。



出典：東京都資料

農家数の推移

農家数は年々減少傾向にあり、営農者による農地の相続は重要であり、所有の細分化が進まない工夫が必要である。



出典：東京農業振興プラン(平成24年3月/東京都)

公共空間や公開空地を活用したマルシェや、都内のレストランで農作物が販売、調理され、輸送コストがかからず新鮮な農作物を提供できる地産地消の取組が進み、農業が活性化している。



(青山ファーマーズマーケット)

出典：中小企業基盤整備機構資料

多摩部、島しょ部の農地は、農業体験や、農業用水での生き物観察を通して、食育や歴史・文化の継承など、子供たちへの教育に寄与している。



出典：東京農業振興プラン(平成24年3月/東京都)

特色ある自然や地形を活かした、美しく風格ある都市

水上バスの航路や対岸などからの眺望を考慮し、連続性のある良好な水辺景観が形成されている。

京浜運河（品川区）

羽田空港と都心を結ぶ舟運（試験運航）ルート風景



出典:東京都資料

コペンハーゲン ニューハウン

カフェ・レストランやアンティークショップが軒を連ね、地元の人々や観光客でにぎわっている。



シドニー オペラハウスとハーバーブリッジ

オーストラリアのシンボルとしても親しまれ、観光客の定番の撮影スポットにもなっている。



出典:テネシー大学

シンボリックな景観資源が、ゆとりや憩い、にぎわいなど、その特色にあった活用をされている。

神宮 絵画館前

落ち着いた雰囲気絵画館前のイチョウ並木



出典:みどりの新戦略ガイドライン(平成18年1月/東京都)

ローマ スペイン広場

ローマの中心街にある広場で、いつも多くの人々でにぎわっている。



ベルリン ブランデンブルク門

ベルリンのシンボルとなっている門で、ベルリンマラソンのゴール地点にもなっている。



原出典表記:BMW BERLIN-MARATHON/Jiro Mochizuki
出典:東京都資料